

ドクター水素ボトル

NEWS

11月

Vol.15

コメット歯科
クリニック

水素療法に注目ーがんと向き合う新しい選択肢ー

健康で幸せな人生に欠かせないのは、やはり「体の内側から整えること」。現代の医学研究において、病気の発症と「活性酸素」との関係が注目されています。体内で発生する活性酸素は、適度であれば免疫機能や感染防御に役立つ「善玉活性酸素」として働きます。しかし過剰に発生すると細胞や遺伝子を傷つけ老化や生活習慣病、さらには、がんの進行に深く関与すると考えられています。実際に、**病気の約90%は悪玉の活性酸素によって引き起こされている**といわれています。

ドクター水素ボトル
ご購入の方から喜びの声



このように水素は、悪玉活性酸素を選択的に除去することで、体を健康な状態に保つサポートをしていくことが出来るので

実際に70歳の女性が、膵臓がんステージ4と診断され、腫瘍マーカー385という数値から治療を開始しました。2024年7月よりドクター水素ボトルを用いて1日平均8時間の水素吸入を続け、加えて水素水も摂取。その結果、9月には腫瘍マーカーが125、10月には60へと大幅に低下しました。抗がん剤の副作用もほとんど見られず、手術後も驚異的な回復力を示し、担当医からも驚きを持って受け止められました。ご本人は「ドクター水素ボトルのお陰です」と語り、現在も元気に経過を重ねています。



そこで今、医療や健康分野で注目されているのが**水素**です。水素は体内に入ると、悪玉の活性酸素だけを選んで取り除く一方で、善玉の活性酸素は残すという非常にユニークな働きを持っています。この「選択的抗酸化作用」によって、体に必要な機能を損なうことなく、余分な酸化ストレスを減らすことができるのです。その方法としては、水素ガスを吸入する「**水素ガス吸入療法**」、ドクター水素ボトルで生成できるような「**ナノレベルの医療用高濃度水素水**」これらは互いに補完的に働き、全身の酸化ストレスをコントロールする有用な手段となるのです。水素には「悪玉活性酸素だけを選んで取り除く」という特性があることがわかっています。体に必要な「善玉」の活性酸素はそのまま残し、害になるものだけを減らしてくれる、それで非常に有益な働きが期待されているのです。



今後、水素療法は、十分な有用性と科学的な見地から、またその特性と実際の臨床現場での事例から、さらに活用が期待されていくことでしょう。もちろん個人差はありますが、毎日の健康習慣に無理なく取り入れられ続けられる点が喜ばれています。



最後までお読みいただきありがとうございました。次回もご一読いただけますと嬉しいです。

